



国府小学校学校運営協議会

地域を愛し、たくましく生き抜く子どもの育成

1 コミュニティ・スクールの取組みを通して育てたい子ども像

学校・家庭・地域で子育てを！

○実態は

- ・あいさつできる子に 大人は？ 地域では？
- ・隣の家のことがわからない？
- ・近所の子どもたちを知っているか？
- ・今の学校のこと？ 今の子どもたちは？
- ・PTAはどんなことを？ 子ども会は？
- ・公民館は何を？ 行ったことがない
- ・町内会を知らない、入らない 老人会無関係

○分かり合っていないことが多い

- ・相互理解が共助共生を生み、地域が高まる
- ・大人が変われば、子どもも変わる
- ・背中を見て育つ（親 中高生 地域の大人）

○《キャッチフレーズ》

知り合う 分かり合う つながり合う

○《目ざす子ども像》

支え合い 高め合う 国府っ子
 ↑ ↑ ↑
自ら学ぶ子 心のあたたかい子 元気な子

2 学校の特徴を生かした取組

○平成29年度の取組み

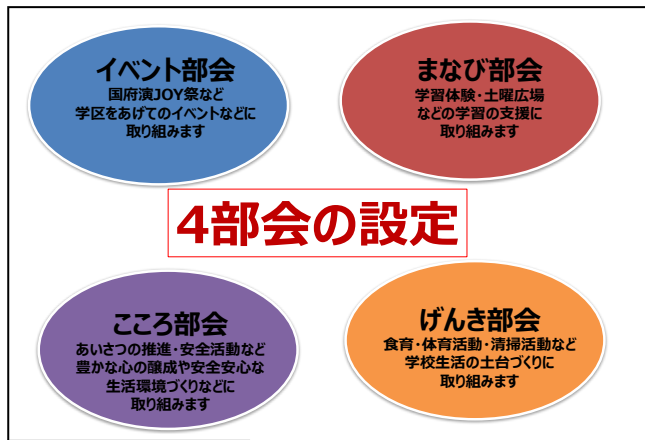
- ・3つの行事の一体化
 （それぞれのすばらしい活動を地域住民全体のものにするために）
- 音楽発表会(学校)…子どもたちの熱心な姿を保護者・家族が時間を割いて見に来ている
- 読書まつり…PTA主催、家庭での読書推進
- PTAの発表に子どもたちがとても喜ぶ
- 公民館祭り…学区内6町内会の文化の発表
- 学校の全児童や保育所児も絵画等で参加



国府演JOY祭り H29. 11. 12(日)

○平成30年度の取組み

- ・4部会の設定
 （昨年度の実践や推進委員会で取り組んでみたいと出されたものをもとに4つの部会を設定した）



イベント部会

[全地域を挙げてのイベント]

第2回国府演JOY祭

H30. 11. 17(土) 予定

広報活動

- CSの理解浸透
- 地域行事の広報・参加の呼びかけ



まなび部会

【体験学習・学習支援】

(土曜広場、体験学習、講座、郷土芸能、郷土工芸など)

国府っ子寺子屋

H30. 8. 10(金)、国府公民館で実施

前半 自由学習



後半 水鉄砲作り



【ふり返り】

・色々な学年で班分けをしたので、高学年が低学年の面倒をよくみてくれたので、自分の勉強をする暇がなかったのでは…。

【ふり返り】

・1年生も地域の方に手伝ってもらって、のこぎり・きりを使って一生懸命作っていた。
・ペットボトルを倒す競争で大人の参加を忘れていた。

星空観察会 H30. 9. 15(土)悪天候で延期
H30. 9. 17(月)実施

【ふり返り】

・天候に左右されるプログラムの為、設定が難しかった。
・大人も含めて興味をもってもらえたのではないかと。

こころ部会

【心づくり】

(あいさつ推進、防災安全、福祉体験、生活習慣、読み聞かせ、昔の遊びなど)

ハイタッチあいさつ

H30. 9. 27(木)、学校玄関前で実施

小さな親切運動「みんなつながろうトモダチ作戦」の活動ともタイアップして行った。



児童が考えるあいさつ推進活動

家庭でのあいさつの状況 (アンケート)

第1回国府学区内町内会防災訓練

H30. 11. 3(土)予定

げんき部会

【体づくり】

(食育、体育活動、環境清掃整備など)

大ラジオ体操

H30. 7. 31(火)、国府小グラウンドで実施



・約550人での大ラジオ体操になった。
・終わった後、6年生が地域の方に、全校児童で作ったメッセージカードを配った。

3 今後の方向性

・参加でなく参画へ。

昨年度の国府演JOY祭で、児童から様々な提案があった。その後のとんどづくりなどでも「何かできることはありませんか。」と町内会などへ要求してきた。今年度も子どもたちが昨年度の6年生の活動をベースにして、参画の在り方を考え取り組もうとしている。このことを大切にしたい。

・子どもだけが学ぶ、子どもたちのためにしてあげたでなく、ともに学び、ともに育つ私たちに。

・CSのねらいを活かす行事や取組みを。地域・PTA・学校の諸行事をCSの視点で見なおす。

・各行事や取組みの後、反応や感想を大切に、次への発展になるように。子どもだけの反応や感想でなく全員のものを。

・事務局の設定・活用を。学校の負担にならない方法を。

6年生が考案したロゴマーク

